

グリーン四国

四国森林管理局

高知市丸ノ内1丁目3-30

TEL 088-821-2052

FAX 088-821-4834

ホームページアドレス <http://www.rinya.maff.go.jp/shikoku/>

電子メール shikoku_soumu@rinya.maff.go.jp



四国山の日

No.1119 2013年6月号

公益重視の管理経営を一層推進

平成25年度四国森林管理局事業概要の記者発表について紹介します。

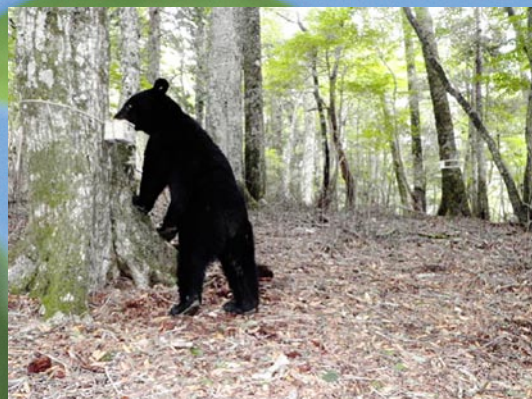
【詳細2頁】



平成25年度事業概要記者発表



【木材利用事例】木製残存型柵を使用した谷止工及び崩壊地に施工した丸太土留工（高知県四万十市）



ツキノワグマ

平成二五年度

四国森林管理局事業概要

〈企画調整課〉



五月二三日に行った平成二五年度四国森林管理局事業概要の記者発表について紹介します。

国有林野事業は、これまで

で特別会計で管理経営を行ってきましたが、昨年成り立った「国有林野の有する公益的機能の維持増進を図るための国有林野の管理経営に関する法律等」の一部を改正する等の法律」により平成二五年四月一日から一般会計に移行しました。

これにより、公益重視の

管理経営を一層推進しつつ、我が国の森林・林業再生、地域振興に貢献する事業・組織としてスタートしました。

四国森林管理局においても、この目的に沿った組織の再編を行うとともに、公益重視の管理経営の一層の推進および我が国の森林・林業再生への貢献を旨として、民有林との連携に積極的に取り組みつつ、これまで以上に計画的かつ効率的な事業を実施していきま

す。

そして、地域と共に歩む「国民のための国有林」として、国民の皆様や地域社会のご期待に応えていきます。

これらを踏まえ、次の三つの柱に沿って事業展開を図ります。

一 公益的機能の維持増進のための森林整備の推進

推進

地球温暖化防止をはじめとする森林の公益的機能を持続的に発揮させるため、地域の特色やニーズに応じ、人工林の複層林化、針広混交林化、長伐期化等により多様で健全な森林へと誘導する森林整備を推進します。

また、民有林・国有林

が連携した治山対策の取組を推進するとともに、生物多様性の保全に向け、原生的な天然林等の保全や人と野生鳥獣との共存に向けた取組を実施していきます。

(取組例)

① 国有林における路網と高性能林業機械を活用した低コスト間伐の推進

森林・林業の再生と地域振興のためには、林業全体に係るコストの低減が重要な課題となっています。このため、多くの人工林で必要な間伐等において、高性能林業機械を導入するとともに、その性能を最大限に発揮させること、壊れにくく使いやすい路網を合理的に

開設し配置すること等により、伐採、搬出作業全体を通じて高い労働生産性を達成する効率的な作業システムを普及・定着することが重要となっています。



森林作業道

四国森林管理局では、間伐等の実施において、路網と林業機械を組み合わせた作業システムを積極的に導入しており、平成二四年度では契約件数の約八割を同システムで

実施しました。

平成二五年度においても、低コストで効率的な間伐の推進に向けて路網と林業機械を組み合わせた間伐事業を積極的に発注します。また、繰り返しの使用に耐える丈夫で簡易な森林作業道の作設技術の向上を図るため、林業事業体のオペレーター等を対象とした現地検討会を開催します。こ



造材プロセッサ

れらを通じて低コストで効率的な作業システムの民有林を含めた普及・定着を図ります。

② 治山事業の推進について

近年、多くの山地災害等が発生し、尊い人命や財産が失われたり、山間地の生活・交通に多大な影響を与えたりしています。このため、四国森林管理局では、平成二三年台風六号の豪雨被災地



奈半利川地区崩壊地全景

区、土石流対策等の必要が生じている地区等、民有林直轄治山事業等の推進に努めます。

また、国有林野内治山事業については、特に国有林と民有林が隣接する流域において、国と県の緊密な連携による重点的・総合的な治山対策が求められていることから、各県と連携して、民有林と国有林を一体とした計画を策定し、相互の事業調整を図りながら治山施設の設置、森林整備を推進する「特定流域総合治山対策」を実施し、奥山から集落近くの里山までの流域全体の保全、住民の安全・安心を確保します。

国有林内の谷止工施工状況



③ ニホンジカ被害対策の推進

近年、四国の東部・西部を中心に、ニホンジカによる農林業・自然植生への被害が深刻化しています。

このため、四国森林管理局では、森林地域における捕獲効率向上に繋がる技術開発を行うとともに、捕獲による個体数調

整に取り組んでいます。

また、食害による樹木の枯死や下層植生の衰退、消失等による土壌の流出等の被害が深刻化していることから、引き続き、ニホンジカの動態調査や地域住民等と協働で森林の再生、植生の回復等に取り組んでいます。



ボランティアとの協働による防護ネット柵設置 (三嶺)

平成二五年度の取組としては、囲いわな、箱わなの設置箇所を拡大するとともに、これまで収集したデータを活用し、現

開発した安価で簡易に設置可能な小型囲いわな



地に応じたわなの設置等を行い、さらに、新たに「くくりわな」にも取り組み、捕獲効率の向上、捕獲数の拡大を目指します。

また、これまでに開発した簡易かつ低コストで作設できる囲いわなの紹介や、捕獲効率向上に繋がるデータを普及する現地研修会を開催するほ

か、これらの研修会の内容、ニホンジカの動態調査結果等をホームページに掲載すること等による情報発信に取り組みます。

④ 生物多様性の保全に向けた取組

野生動物の移動経路、生息・生育地を確保し、貴重な森林生態系を維持して生物多様性を保全するため、平成一五年三月に設定した「四国山地緑の回廊」(石鎚山地区・剣山地区：一八千ha)を対象として、緑の回廊の有効性の検証を行っていくモニタリング調査を継続的に実施しています。

これまでのモニタリング調査では、剣山地区に

において、四国では絶滅が危惧されているツキノワグマの生息状況を確認するとともに、石鎚山、剣山両地区での鳥類調査では、希少猛禽類であるクマタカの成鳥・幼鳥の生息を確認しました。



クマタカ

平成二五年度についても、引き続き石鎚山地区及び剣山地区を対象に、ツキノワグマ等の生息状況を把握するため自動撮影カメラやヘアートラック

プ等による哺乳類調査、ラインセンサスによる鳥類調査を行うこととされています。

二 森林・林業の再生への貢献

地域の担い手となる林業事業者や人材を育成するために、国有林がフィールド・技術を提供して人材育成に係る研修を実施し、新たな森林計画制度や森林経営に関する民有林行政への人材支援を行うとともに、民有林と国有林が一体となった森林共同施業団地の設定を推進して森林・林業の再生に貢献していくこととされています。

また、大口の需要者に対して原材料となる木材を安定的に供給する「システム

准フォレスト研修の様子



販売」を引き続き実施するとともに、治山事業等の現場における木材利用を推進し国産材の利用拡大に取り組めます。

(取組例)

① 国有林のフィールドを活用した人材育成の取組

四国森林管理局では、長期的視点に立った森林づくりや路網作設等を計画・指導できる技術者を

フォレスターとして育成するため、当局の有するフィールド、人材等を活かしながら、平成二三年度から准フォレスター研修を行っていきます。また、フォレスターとしての資格認定制度が今年度から始まりま

システムを構築することが必要です。このため、森林共同施業団地の設定等を推進し、民有林と国有林が連携した一体的な森林整備に取り組み、森林・林業の再生に貢献していきます。

す。国有林の職員からもフォレスターを育成し、

平成二三年度には嶺北森林管理署と香美森林組合との間で、「南国市

各県のフォレスターと連携しながら市町村森林整備計画の作成や森林経営計画の認定など、民有林施策を支援していくこととしています。

ノ川地域森林整備推進協定」を締結しました。この協定に基づき平成二四年度末までに、民国合わせて五一haの間伐を実行しました。

② 民有林と国有林が連携

した森林整備の推進

森林・林業の再生に向けては、「施業の集約化」に取り組み低コスト作業

も、引き続き森林共同施業団地の設定や、既設団

地での森林整備に取り組みます。また、国有林と隣接・介在する民有林

における公益的機能の低下が、国有林の発揮している公益的機能に悪影響を及ぼすおそれがある場合等において、路網開設、間伐等の森林整備等を民有林と一体的に実施する公益的機能維持増進協定に取り組みこととしていきます。

りを進め、間伐材などの森林資源の有効利用を推進していくことは、地球温暖化防止の観点からも重要な課題となっております。



協定の締結（嶺北森林管理署）

③ 国有林材のシステム販売の取組

適切な間伐の実施により健全で豊かな森林づく

このような中、間伐材を合板や集成材、紙の原料としてだけではなく、バイオマス燃料などとして無駄なく利用しようとする取組も進められています。

しかし、間伐材は販売に係る手間やコストが掛かり増しになる割には価格が安く、また、合板・集成材工場等のように低

質材を大量に利用する需要者にとっても、少量・不安定な取引による調達

は不便なものとなりました。

こうした問題を踏まえ、国有林では、大規模需要者等と協定を締結し、間伐材を大量かつ安

定的・計画的に需要者に供給するシステム販売に

取り組み、流通の簡素化や中間コストの縮減等を

図ることにより、間伐材の販路の確保や新規需要の開拓に取り組んでい

ます。



木材乾燥のための熱を供給する木質バイオマスボイラー